

少子高齢化社会 健康都市湖南づくりの推進



無所属の会 市民の力 ● 堀田 繁樹 議員



こなん・ザ・ボイス(岩根まちづくりセンター)

問 少子高齢化・長寿命化社会を見据えた今後の方向性を伺う。

答 本市も高齢化が進んでいます。健康づくり推進の事業を継続的に展開していきます。

問 健康都市こなんづくりのため、施策の現状と今後の方針は？

答 「健康こなん21計画」で分野ごとに目標値を設定し、事業実施しています。特にがん検診受診者数は伸びており、生活習慣病予防対策は結果的に不十分でした。高齢分野では、百歳体操や健康カラオケ、シルバー農業塾などを実施しています。要介護認定率は徐々に下がっています。

問 スポーツ健康ゾーン計画の考えは？

答 総合体育館周辺施設エリアの位置づけは今後の計画の参考にさせていただきます。

企業誘致の現状と今後の方向性は。

答 県・関係自治体・企業と連携し、首都圏、京阪神圏などに誘致活動を実施しています。市独自にウェブ版「湖南市企業ガイド」で情報発信しています。今後、中小企業の支援に積極的に取り組みます。

問 街並み保全のため道路景観にも配慮を。

答 景観法の施行を受け、道路全域を視野に入れ、調和のとれた景観整備に努めます。

問 移住定住施策の今後の展開は？

答 地理情報システムの活用で円滑な空き家対策を目指し、耐震改修補助制度により支援していきます。

高齢者安心システムと デマンド型交通



誠心会 ● 上野 顕介 議員

高齢者安心システム

問 湖南市では、独居などの高齢者が体調異変を感じた場合にボタンを押すだけで24時間対応のセキュリティセンターに緊急通知ができる安心システムがあります。現在のところアナログ電話の世帯しか加入できません。昨今はインターネットの普及によりデジタルIP電話回線が増加しています。安心システムに加入できないのは困りますがどうか。

答 平成30年4月からIP回線の世帯でも加入できるようにします。

問 このシステムは、協力が3人必要ですが、こういったことは民生委員や自治会などに伝えていますか。

答 民生委員には通知はしましたが、各方面と今後しっかりと協議いたします。

デマンド交通について

問 主に買い物や通院などを目的として乗合型乗用車で目的地と家までを送迎するデマンド型交通については、市としてどのように取り組むのかをこの3月までに決定するということでしたが、どうなりましたか。

答 公共交通として、主線をコミュニティバスが走っており、それを補完する支線対応としてまちづくり協議会の協力によるデマンド型交通を実現する方向で考えています。

問 まちづくり協議会に対する車両や燃料、保険などの補助対応はありますか。

答 国土交通省などと協議し対応していきたいと思えます。



高齢者24時間対応型安心システム緊急通報装置